

神田内閣府大臣政務官

インパクトコンソーシアム設立発起会合 挨拶

2023年11月28日

内閣府大臣政務官の神田潤一です。本日はインパクトコンソーシアムの設立発起会合の開催にあたり、ご挨拶の機会を賜り、関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

気候変動や少子高齢化、災害への対応など、我が国は課題先進国といわれています。岸田政権の「新しい資本主義」では、官民の連携により、社会課題を成長のエンジンに転換し、持続可能な社会を実現していく好循環の実現に取り組んでいます。

好循環の実現の鍵となるのは、新しい技術やアイデアで課題解決のインパクトを創出する企業のカ、そして、インパクトに着目し、その実現に必要な技術とビジネスモデルの革新を促す金融の力です。

また、新しい発想でイノベーションを創出していく

ほか、特に、地域においては、地域課題への対応を通じ、地域経済の持続的成長を目指す創業企業や地域の伝統的な企業と、行政とが連携することで、課題解決に向けた取組みがより一層進んでいくことが期待されます。

本日、発起人の方々により、官民の多様な関係者が連携し、インパクトについて、積極的な対話と事例・課題・手法の検討・共有を行うことができる場を設立発起いただいたことは、社会変革と持続的な経済成長を促していく上で、非常に有益であると考えております。

コンソーシアムでのご議論を通じて、インパクトの実現を図る投資・金融活動が、有力な投資手法・市場として発展し、持続可能な社会の実現へと繋がっていくことを期待しています。

本コンソーシアムの益々のご発展と本日ご出席の皆様方のご健勝を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。ご清聴、ありがとうございました。